



■12人が登壇 近代化遺産は？中心市街地は？ (代表質問、一般質問)

市議会第3回定例会の質疑・質問は9月16日、20日、21日の3日間で行われ、近代化遺産の世界遺産登録への取り組み、財政健全化計画、職員配置適正化計画、中心市街地活性化、公立学校・施設的环境整備などの諸課題について、各会派の代表質問5人を含め、12人の議員が登壇し、市長をはじめ、執行部に質問しました。

■本会議における議会改革の取り組み

議会改革の一環として、質問がよりわかりやすいものとなるよう、平成23年2月定例会から、以下の取り組みを行っています。

1. 一問一答制の導入

質問と答弁がテンポよく、わかりやすくなるよう、一問一答制を導入しました。従来からの再質問からの一問一答制にも利点はあるため、選択制としました。

2. 質問時間の見直し

持ち時間は議員の発言時間に限定し、答弁の時間は除きました。その結果、一回の質問での持ち時間は代表質問45分、一般質問35分となりました。

3. 質問者席の設置

質問がわかりやすく、また議論が深まることを目的として、質問者は自席ではなく、最前列に設置した質問者席から質問を行うようにしました。



4. 発言通告書の詳細化

質問する議員が事前に提出する発言通告書は、質問の内容と論点がよりわかりやすくなるよう、抽象的な表題は避け、具体的に詳しく記入するよう改善しました。



財政健全化を図りながら 新たなまちづくりの方向性を

おおむた・市民党 田島 哲也議員

問 市長選3期目出馬に向けた決意を聞きたい。

答 今後のまちづくりの目標は、総合計画に掲げているいい、やすらぎ安心都市、活力と創意にあふれる産業都市、市民と歩む自立都市の三つの都市像の実現である。

実質収支の黒字化が図られたが、今後は三大プロジェクトを効果的に活用し、定住人口・交流人口の増加と、それに伴う賑わいと活気生まれる新たなまちづくりに取り組み、本市の活性化と振興に全力を傾注していく。

問 市街地再開発事業の進捗状況について聞きたい。

答 中心市街地では、そこに形成された業務や商業等の機能の充実を図るとともに、定住・交流人口の増加を図るなど、



活性化に寄与する事業を進め 新栄町の太陽光発電マンションていく必要がある。特に新栄町地区は、特急電車が停車し、一日の乗降客が約五千人ある西鉄新栄町駅がある交通結節点としての利便性が高い地区で、街なか居住を推進する必要がある。地元から提案された同駅前地区市街地再開発構想は、新栄町の機能更新等が描かれ、本市のまちづくりと同じ方向性を有していることから、市としても協力し、地元準備会の事業計画策定の指導・助言に努めてきた。今後も、事業実施に必要な都市計画等の手続きや補助事業の導入に積極的に取り組み、再開発事業を成功させ、まちづくりにつなげたい。

問 東日本大震災の影響による本市中小企業の経営安定化に向けた取り組みについて聞きたい。

答 東日本大震災復興緊急保証制度による認定は、県全体では8月までで1,701件、本市では現在のところ4件で、業種は、自動車販売業が2件、建設業、旅行代理業が1件ずつである。本市での経営安定関連保証の認定については、平成22年度は385件、23年度は8月現在で105件で、今後とも経営安定化資金を中心とした融資あっせんを実施するとともに、商工会議所等と連携して、震災の影響に関するアンケート調査を市内企業を対象に実施するなどして、実態把握に努めたい。

人事議案

■大牟田市農業委員会委員の推薦について



今村智津子
議員

9月12日の本会議において、今村智津子議員を推薦することを可決しました。

■人権擁護委員候補者の推薦について

9月27日の本会議において、一ノ瀬彰子氏（大字倉永）を推薦することに異議なき旨答申しました。